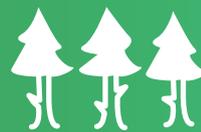


令和6年度に取り組んだ環境実績数値について、分かりやすくまとめています。



エネルギーの効率改善・省エネ

潜熱回収型給湯器	令和6年度導入実績 9,168 戸 (新規建替え: 1,990 戸 既存取替: 7,178 戸)
LED	令和6年度導入実績 18,073 台 (新規建替え: 4,233 台 既存取替: 13,840 台)
太陽光	導入実績 (累積) 577 kw 発電量 57 kwh
複層ガラスへの交換	令和6年度実績 約 12,460 戸 CO ₂ 削減量約 959 t-CO ₂ /年
屋根断熱修繕	令和6年度実績 約 3,586 戸 CO ₂ 削減量約 283 t-CO ₂ /年

資源循環・環境配慮製品

●建設副産物の再資源化率等実績値 (令和6年度に完了した請負金額500万円以上の工事)

再資源化率		再資源化・縮減率			有効利用率	※目標値
コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊	建設発生木材	建設汚泥	建設廃棄物全体	建設発生土	国の「建設リサイクル推進計画2020」において設定された2024年度の達成基準値を準拠。
99.8%	99.9%	99.7%	99.9%	98.9%	98.9%	
目標値 99%以上	目標値 99%以上	目標値 97%以上	目標値 90%以上	目標値 98%以上	目標値 80%以上	

●建物内装材の分別解体

主な建物内装材の再資源化率					※解体により生じる品目とその地域の特性により再資源化率等は変動します
石膏ボード	塩化ビニール管・継手	畳	発泡スチロール	板ガラス	
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

●グリーン購入 (物品、公共工事)

調達実績	特定品目調達実績 (数値目標がある品目)
100% 目標値 100%	22品目 (調達しなかった品目も含める) 全て 100% 目標値 100% (一部90%)
※必要な機能・性能を有する判断の基準を満たす製品が市場に確認できなかったものを除く	

調達物品・役務 (抜粋)

- 紙類
- 文具類
- オフィス家具等
- 電子計算機等^{※1}
- 家電製品^{※1}
- エアコンディショナー等^{※1}
- 照明
- 自動車等^{※1}^{※2}
- 消火器
- 制服・作業服
- インテリア・寝装寝具
- その他繊維製品
- 災害備蓄用品
- 役務

※1 リースを含む

※2 自動車等とは、カーナビゲーションシステム及び一般公用車タイヤの調達を含み、震災復興事業での雪道等の走行に必要な小型四輪駆動車の調達を含まない

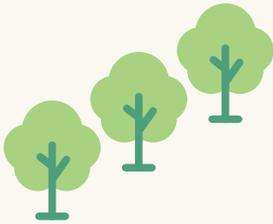
特定調達品目 (22品目)

- 再生加熱アスファルト混合物
- 鉄鋼スラグ混入アスファルト混合物
- 鉄鋼スラグ混入路盤材
- 再生骨材等
- 高炉セメント
- フライアッシュセメント
- 生コンクリート (高炉)
- 生コンクリート (フライアッシュ)
- 下塗用塗料 (重防食)
- パークたい肥
- 下水汚泥を用いた汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト)
- セラミックタイル
- フローリング
- パーティクルボード
- ビニル系床材
- 照明制御システム
- 排水・通気用再生硬質ポリ塩化ビニール管
- 自動水栓
- 自動洗浄装置及びその組み込み小便器
- 大便器
- 排出ガス対策型建設機械
- 低騒音型建設機械

緑化・自然活用

植樹本数 (高中木)

約 **9,600** 本



既存樹木の有効活用
(高中木の保存・移植)

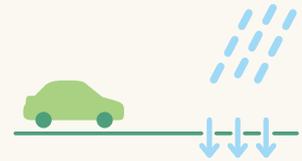
約 **110** 本



透水性舗装

約 **35,000** m²

約 **11** 地区



CO₂ 年間吸収量※ 1

約 **3,000** t-CO₂/年

※ 1

管理開始後 30 年以内の賃貸
住宅内にある樹高 3.0 m 以上
の樹木を対象として算定



CO₂ 累積固定量※ 2 (昭和 31 年～令和 6 年)

約 **321,200** t-CO₂

※ 2

賃貸住宅内にある樹高 3.0 m 以上
の全樹木を対象として算定



緑のカーテン
(栽培キットや苗の提供)

155 団地
4,894 戸



屋上緑化 (平成 6 年度～令和 6 年度の累積)

実績 **16.7** ha
東京ドーム 約 **3.6** 個分



団地の緑地面積

※一部屋上緑化の面積も含まれます。

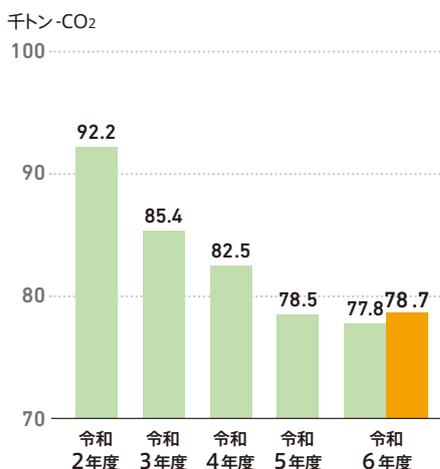
約 **2,400** ha
東京ドーム 約 **510** 個分



エネルギー使用量の推移

項目	単位	※1					※2
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
電気使用量	億kWh	1.7	1.6	1.5	1.5	1.5	1.8
都市ガス	万m ³	13.0	12.8	13.1	6.1	7.8	11.3
プロパンガス	kg	148.3	33.1	4.8	7.3	2.6	2.6
ガソリン	kL	205.5	164.3	146.0	133.7	117.7	117.7
軽油	kL	0.8	0.9	1.5	2.2	2.3	2.3
灯油	kL	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
地域冷暖房	万GJ	1.7	1.7	1.6	1.7	1.7	1.4
CO ₂ 排出量 ^{※3}	千トン-CO ₂	92.2	85.4	82.5	78.5	77.8	78.7

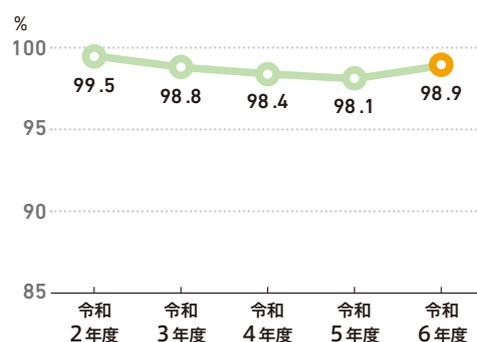
〈CO₂排出量〉



資源循環 (建設副産物^{※4}) の推移

項目	単位	※1					※2
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
発生量	千トン	957.4	336.8	225.8	300.8	313.0	
再資源化等量	千トン	952.6	332.8	220.4	295.2	309.3	
再使用量	千トン	0.0	0.0	1.9	0.0	0.4	
最終処分量	千トン	4.8	4.0	3.5	5.6	3.3	
再資源化・縮減率	%	99.5	98.8	98.4	98.1	98.9	

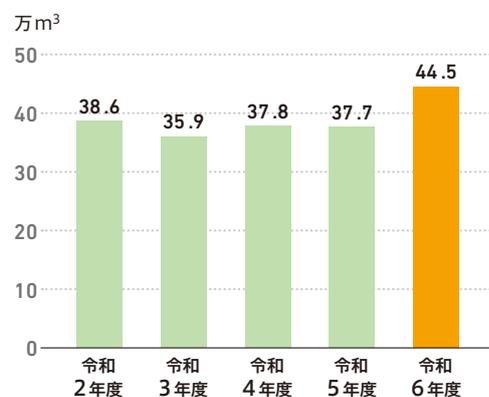
〈再資源化・縮減率〉



水使用量の推移

項目	単位	※1					※2
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
水使用量	万m ³	38.6	35.9	37.8	37.7	44.5	
├ 上水道	万m ³	37.9	35.2	37.0	36.9	43.6	
└ 中水道	万m ³	0.7	0.7	0.8	0.8	0.9	
排水量 (下水道量)	万m ³	38.3	35.6	37.6	37.4	44.4	

〈水使用量〉



※1 UR-eco Plan 2019を算定対象とした実績数値

※2 UR-eco Plan 2024を算定対象とした実績数値 (UR-eco Plan 2019対比集計対象を拡大)

※3 令和5年度までは、平成25年度の電力排出係数を基に算出。令和6年度以降は、各年度毎の電気事業者別排出係数の代替値を基に算出

※4 請負金額500万円以上の工事が対象